



▲谷口さんの熱のこもった講演に聞き入る参加者たち

わたしもあなたも、共に学び合う未来へ

田川市人権・同和教育中央講座

7月28日、田川市民会館で「田川市人権・同和教育中央講座」が行われ、地域や学校、企業などの指導者層の人たち約150人が参加しました。

この日は『部落差別解消推進法の意義と私たちの課題～「いま・ここ・自分事」として考える～』と題して、公益社団法人福岡県人権研究所事務長の谷口研二さんが講演。部落差別のない社会を目指して取り組んできた50年の歴史をたどりながら、今なお存在する偏見や差別を解消するための心構えなどを示しました。谷口さんは『差別する人も自分も否定しない、自分自身も相手も尊敬する「私OK・あなたOK」の気持ちで接するコミュニケーションが大切』と訴えました。

地域おこし協力隊 自転車でGO

Facebookでも活動を発信中！
スマホ、携帯電話から今すぐアクセス！

大平QR  砂子間QR 

早くも気分は「炭坑節まつり」

甲子園が終わると「今年も夏が終わったな～」と思います。実は私たち2人は元高校球児。夢を叶えた球児たちの姿を見ると青春時代の記憶が鮮明に蘇り、夏の思い出に花が咲きます。さて、夏が終われば次は秋。本市では、11月4日（土）・5日（日）に開催される「TAGAWA コールマイン・フェスティバル～炭坑節まつり～」の準備が始まりました。去年は、会場の撮影に徹していましたが、今年は思いっきり参加して楽しみます。よし、炭坑節をバッチリ覚えるぞ～！

思わずカメラを向けた衝撃の光景

7月5日、河川敷を飲み込んで濁流が流れる彦山川を目の当たりにして、思わずカメラを向け動画を撮影しました。普段は田川の魅力を発信しているフェイスブックですが、この日はこの動画を投稿して注意を促しました。今後も地域おこし協力隊の活動を通して、地域を守る力になればと思います。ちなみに、今号の表紙や災害特集に使われている彦山川の濁流の写真は、砂子間が撮影しました。



シリーズ 田川市立病院だより

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック

「地域住民講演会」を始めました ～あなたに知ってほしい。病気や健康のこと～

病気を治療する上で早期発見、早期治療が望ましいことは言うまでもありません。さらに望ましいことは、予防によって「病気にかからない」ということです。病気の早期発見や予防のためには、病気のことをよく知ることが大切です。田川地域のみなさんに病気や健康について知って欲しい、そんな思いから、市立病院では「地域住民講演会」を始めました。この講演会では「糖尿病」や「がん」のほか、みなさんの関心が高いさまざまなテーマを取り上げていきます。

第1回は6月24日に開催し「あなたのそれ、減塩で

すか？」をテーマに、当院の腎臓内科医師、看護師、管理栄養士が塩分と病気予防について講演しました。また、塩分の味覚チェックテストを実演するなど、講演や体験を通して、塩分の過剰摂取で引き起こされるさまざまな健康問題や減塩のためのアドバイスなどを伝えました。

今回は、本年10月頃の開催を予定しており、災害への備えと救命救急措置をテーマに医師や看護師がわかりやすくお話しします。詳しい内容が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。